

社會產業局所管

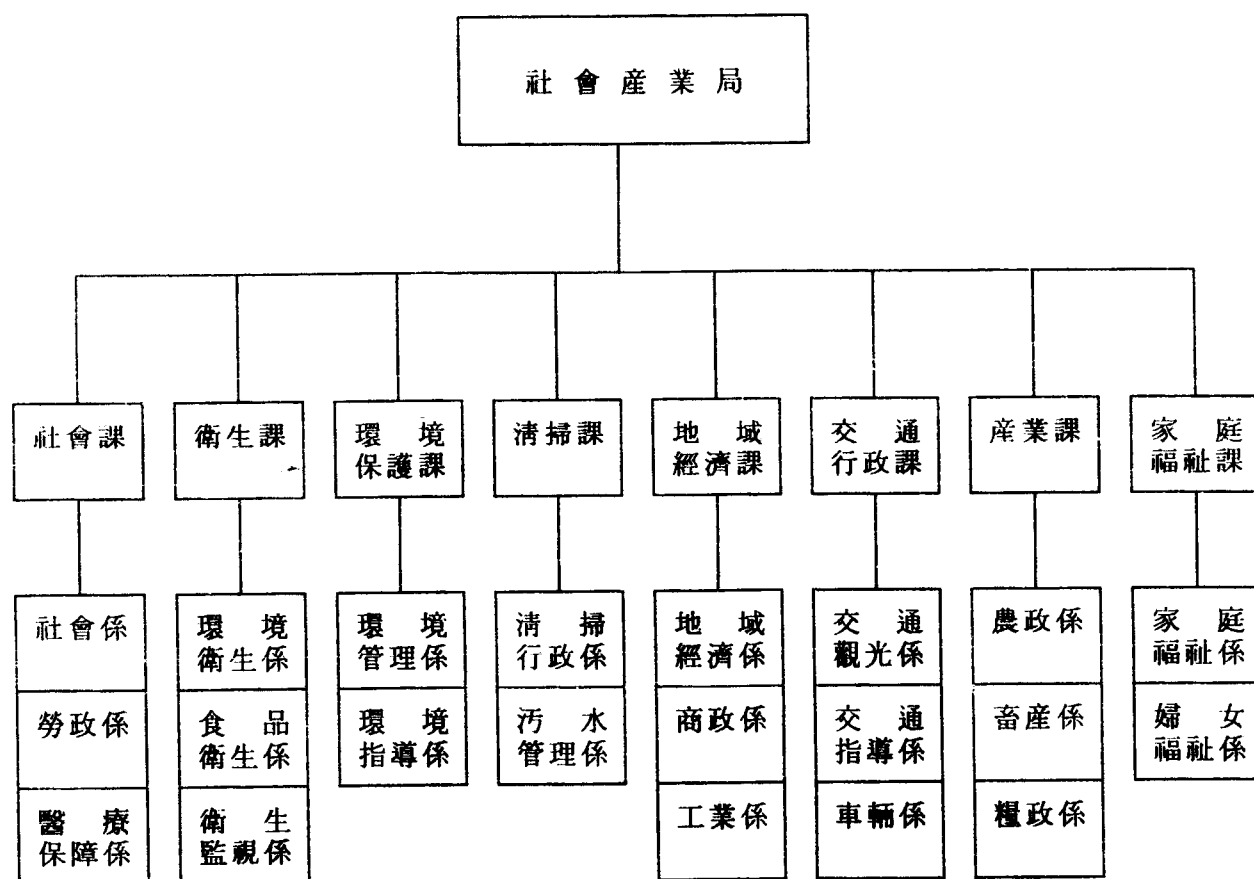
報 告 順 序

- 一 般 現 況
- '94 主 要 業 務 實 績
- '95 主 要 業 務 計 劃
- 特 殊 施 策

一 般 現 況

職制 定・現員

□ 職 制 — 8 課



□ 定・現員表

(定員 / 現員)

課・所名	計	定 現 員 内 譯							備 考
		4級	5級	6級	7級	8級	9級	技能職	
計	117 / 113	1 / 1	8 / 8	23 / 22	34 / 28	27 / 22	2 / 10	22 / 22	
社 會 課	16 / 15	1 / 1	1 / 1	3 / 3	5 / 5	4 / 3		2 / 2	
衛 生 課	16 / 16		1 / 1	3 / 3	4 / 4	7 / 6	1 / 2		
環 境 保 護 課	13 / 13		1 / 1	2 / 2	4 / 3	5 / 1		1 / 1	
清 掃 課	18 / 18		1 / 1	2 / 2	4 / 4	2 / 1		9 / 9	
地 域 經 濟 課	15 / 13		1 / 1	5 / 4	5 / 2	1 / 2		3 / 3	
交 通 行 政 課	18 / 18		1 / 1	3 / 3	5 / 4	2 / 3		7 / 7	
産 業 課	14 / 13		1 / 1	3 / 3	4 / 3	5 / 5	1 / 1		
家 庭 福 祉 課	7 / 7		1 / 1	2 / 2	3 / 3	1 / 1			

一 般 現 況

□ 生活保護對象	————	704 家口	1,935 名
○ 居宅保護		404 "	890 "
○ 自活保護		300 "	1,045 "
□ 社會福祉施設	————	110 個所	4,412 名
○ 老人會		76 "	3,300 "
○ 育兒施設		1 "	77 "
○ 保育施設		33 "	1,035 "
□ 衛生業所	——	4,637 個所 (環境 1,005 食品 3,632)	
□ 公害排出許可業所	——	186 個所	
○ 大氣 49, 水質 90, 騒音 15, 共通 32			
□ 有害化學物質管理業所	——	18 個所	
○ 販賣 15, 取扱 1, 製造 2			
□ 市場	——	常設市場 14, 大型店 1, 百貨店 2	
□ 生活쓰레기 收去 區域	——	66,451 家口	7,068 km ²
□ 清掃人力, 車輛保有	——	261 名	33 臺

□ 企業體 現況

區 分	計	1 工團	2 工團	3 工團
入 住	392	216	62	114
稼 動	288	196	49	43
面 積	5,287,800	3,152,470	688,280	1,447,050

○ 建設中 : 41 未着工 : 43 休業 : 20

○ 雇 傭 : 67,121 名 (男 43,006 女 24,115)

□ 大衆 交通手段

○ 市内버스 : 2個社 109台 ○ 택시 : 3個社 850台 ○ 專貫버스 : 1個社 26台

○ 一般貨物 : 4 " 311 " ○ 用達 : 3 " 85 " ○ 特殊旅客 : 2 " 6 "

□ 自動車 管理業體

○ 整備工場 : 12個所 ○ 中古車賣買業 : 3個所 ○ 廢車業 : 1個所 ○ 其他 : 2個所

□ 農業 現況

○ 農 家 數 : 1,980 戶 (總家口의 3.4%)

○ 農家人口 : 7,626 名 (總人口의 2.8%)

○ 耕地面積 : 1,749 ha (畝 1,150 田 599)

※ 戶當 0.9 ha

'94 主要 業務 實績

'94 主要 業務 實績

□ 低所得層 支援		815,829 千圓
○ 居 宅 救 護 費 支 援	404 家口 890 名	509,364 "
○ 子 女 學 費 支 援	401 名	134,230 "
○ 自 立 基 盤 造 成	214 件	172,235 "
・ 生 活 安 定 資 金 支 援	12 家口	78,000 "
・ 傳 貫 轉 換 推 進	7 "	49,000 "
・ 居宅保護低所得極貧家口住居費 支援	163 世帯	37,535 "
・ 緊 急 救 護 費 支 援	32 名	7,700 "
□ 障 碍 人 支 援		13,170 "
○ 重症 重複 障碍人 生計 補助	11 名	2,580 "
○ 手話 ㄟ 點字教室 運營	130 "	4,510 "
○ 子 女 學 費 支 援	1 "	326 "
○ 登 録 診 斷 費 支 援	46 "	354 "
○ 特殊學校 學生 學費 支援	10 "	2,400 "
○ 全國 聾啞人 蹴球大會 支援		3,000 "
□ 其 他 支 援		79,119 千圓
○ 誠 金 61,914 千圓 (78%)	○ 市 費	17,205 千圓 (22%)

□ 勞使 動向

○ 賃金・團協交渉

・賃 金：對象 85個社，妥結 82，交渉 3，時期未到來 0

・團 協：對象 79個社，妥結 73，交渉 4，時期未到來 2

○ 勞使紛糾

・爭議發生申告：5件 → 罷業 1件 (코오롱)

・原因：賃・團協 決裂 - 5件 (동국합섬, 대영산업, 코오롱, 두산전자, 코람프라스틱)

○ 就業情報센터 運營：求職 希望者 178名，斡旋 155名 (87%)

○ 雇傭促進訓練事業：5個 職種 122名，66,000千圓

□ 醫療保護

○ 醫療費 支給：總 770,436千圓 → 556,464千圓 (72%)

□ 健全營業 雰囲気 造成

○ 教 育	17 回	591 名
○ 懇 談 會	2 回	24 名
○ 決 意 大 會	3 回	565 名
○ 弘 報		
・ 傳單	30 千枚	・ 스티카 20 千枚
・ 팜플렛	3 千枚	・ 書翰文 3 千枚

□ 違反業所 團束 行政處分

○ 違反業所	—	970 件
・ 頽廢・變態	39 件	
・ 時間外 營業	88 件	
・ 遵守事項 ;其他違反	843 件	
○ 行政處分	—	970 個業所
・ 許可 取消	30	・ 營業停止 244
・ 是正 警告	642	・ 告 發 56

※ 全 業所의 21 % 行政處分

□ 公害 排出業所 指導團束

○ 業 所 數 — 186 個所

○ 團 束 實 績 — 833 "

○ 違 反 業 所 — 38 "

〔基準超過	19	非正常稼動	3
無許可	2	其 他	14

○ 行 政 處 分 — 38 "

〔使用禁止	2	操業停止	2
改善命令	19	警 告	15

・ 排出賦課金 — 11 件 67,138 千圓

・ 過 怠 料 — 8 " 3,100 "

□ 車輛 排出 가스團束

○ 點 檢 計 劃 — 1,900 臺

○ 團 束 實 績 — 2,000 "(105%)

〔改善命令 — 46 "
過 怠 料 — 12,450 千圓

□ 飛散먼지 發生事業場 管理

○ 申 告 — 82 件

○ 措置事項 — 施設適合 44 改善命令 11 未着工 27

○ 未申告 事業場 措置

・ 事業場 數 — 4 個所

・ 申告 措置 및 過怠料 賦課 — 2,000 千圓

□ 産業 廢棄物 管理

○ 廢棄物 發生 事業場 —— 148 個所

○ 發生 及 處理 類型

・ 發 生 量 —— 281.190 TON /年

・ 處理 類型 —— 再生利用 200,490 委託處理 70,390

自家處理 10.310

○ 臨時野積場 設置運營 —— 2,000坪 6,000톤

□ 環境改善費用負擔金 賦課徵收

○ 賦 課 額 —— 11,787 件 402,751 千원 (年 2 回)

○ 徵 收 額 —— 9,054 " 373,276 " (93 %)

○ 賦課對象 —— 大衆飲食店, 店鋪, 宿泊施設, 輕油 使用 車輛等

□ 環境 保全 示範學校 運營

○ 學 校 名 —— 龜尾國民學校 (43 學級 1,883 名)

○ 支 援 金 —— 3,000 千원

○ 運營 效果

・ 環境의 重要性 注入

・ 環境實習 並行으로 生活習慣의 變化

・ 學父母의 環境 認識 鼓吹

□ 市街地 清掃

○ 清掃業務의 洞移管 ('94. 3.14) : 清掃人力 및 裝備의 管理.運用

□ 쓰레기 不法投棄 團束

○ 쓰레기 不法投棄 監視員制 施行 : 道內最初(實績: 121件, 過怠料賦課 12,685千원)

□ 쓰레기減量 및 再活用運動

○ 쓰레기減量 : 404톤/日 → 374톤/日 ($\Delta 7.4\%$)

○ 資源再活用 ('94.10.31 現在) : 6,869톤 (30톤/日)

□ 쓰레기埋立場 管理

○ 쓰레기埋立 ('94.10.31 現在) : 930千 m^2 (總埋立容量 1,372千 m^2 의 68%)

○ 隣近周邊 農路開設 : 300m (24,000千원), '94. 11月 完工

○ 쓰레기埋立場進入路 鋪裝工事 : 520m(95,000천원), 94. 12月 完工豫定

□ 環境美化員專用施設 2層増築 — { 増築面積 : 80坪(事業費 : 130,000千원)
完工豫定 : '94. 12月

□ 汚水. 糞尿 淨化槽 清掃 : 汚水 淨化施設(339個所). 糞尿 淨化槽(5,648個所)

□ 公衆化粧室 整備 — { 整備對象 : 3個所 (中央市場, 忠魂塔, 上毛삼거리)
事業費 : 18,426千원 (道費 14,000, 市費 4,426)

工團支援

○ 輸出 實績 : (目標) 6,700 百萬달리 → (10月末) 5,930 (88.5%)

○ 中小企業 育成資金 支援 68 個社 62.7 億円

・ 利子 支援 35 " 2,626 萬圓

○ 中小企業技術研修支援 26 " 356 名

○ 産業體 特別學級 支援 3 個校 500 萬圓

燃料業體指導管理

○ 注油所 許可 6 個業所 (25個 → 31)

○ 가스販賣業所許可 2 " (24個 → 26)

□ 大型事故 憂慮地區 安全點檢

○ 對象：17個所（市場，百貨店）

○ 市,消防署,가스安全公社 合同點檢 — 4 回

□ 市民交通 便益 增大

- 시내버스共同配車制 실시 — 共同管理委員會 구성, 48個 路線 輪番制 共同配車
- 택 시 증 차 — 850 台 ('94 증차분 64台)
- 버스 및 택시乘降場 整備
 - 新設・交替 187個所, 塗色整備 150個所
 - 사 업 비 : 41,000 千원
- 승용차함께타기운동 展開 — 카풀乘降場 15個所 설치, 54個 공공단체, 企業體 참여
- 交 通 安 全 施設物 整備
 - 信號燈 및 警報燈 新設 10個所 191,000千원
 - 信號燈 및 警報燈 補修 47個所 40,000千원
 - 車 線 塗 色 200 km 150,000千원
 - 交通標識板, 기타 84,000千원

□ 交通秩序 確立

- 運行 秩序 위반차량 團束 — 버스・택시 77 件 13,250 千원
駐停車違反 13,584 件 407,520 千원('93對備 36% 增)
- 無 斷 放 置 車 輛 처 리 — 牽引 및 廢車 81 件, 告發 27 件
- 運輸業體 종사자 교육강화 — 종합교육 2回 2,700名, 運輸業體 每月1回 실시
- 車輛 및 運送 施設 點檢 — 버스터미널等 17個業體 1,350台 (分期1回)
- 責任保險 미가입자 과태료 賦課 — 1,804 件 103,457千원
- 自動車管理法令 위반차량・업체 團束 — 149 件 (整備命令 69件, 기타 80件)

□ 都市交通 運營 改善

○ 都市交通整備 基本計劃 樹立

- 用 役 期 間 : '94. 5. 20 ~ '95. 3. 19
- 事 業 處 : 건화엔지니어링 (교통연구전문기관)
- 事業費 및 進度 : 163百만원, 60%

※ 整備地域 : 구미시, 선산군 선산읍·고아면, 칠곡군 북삼·석적면, 금릉군 아포면

○ 交通影響評價 實施 ——— 진평지구 토지구획정리사업 外 12 件

- 交通誘發負擔金 賦課

┌	對象 : 1,000㎡ 이상 상가, 백화점등 730 件, 78 百만원
└	納期 : '94. 9. 16 ~ '94. 9. 30

□ 駐車空間 擴充·運營

○ 駐 車 場 擴 充

- 善基川高水敷地 3,600 坪(348台) 中 1,800 坪 工事 完了

○ 金오천 覆蓋駐車場 運營

- 規模 4,235 坪 520 面 — 駐車 168,450台·收入 219,672千원 ('93對備 35% 增)

□ 食糧 生産

○ 實績 : 1,569 ha → 10,089 M/T

┌ 米 穀 : 1,150 ha → 5,658 M/T (39,292 石)
├ 田 作 物 : 137 ha → 318 M/T (2,385 石)
└ 園藝作物 : 282 ha → 4,113 M/T

□ 農機械 半畝 供給

○ 64 臺 → 75 臺(63,140 千圓) - 117 %

□ 農作物 가뭄 被害

○ 被害 現況 : 433 戶 232 ha (植付面積의 20%)

○ 復舊費 支援 申請 : 46,373 千圓(國庫 : 37,123 義捐金 : 9,250)

(無償糧穀 30,832 營農資金 9,700 授業料減免 5,841)

□ 糧穀 收買

○ 夏穀 4,655 가마 (가마당 26,280 원)

○ 秋穀

・配 定 量 : 51,940 가마

・收買期間 : 11. 11 ~ 12. 20

※ 國會 同意 後 物量追加 配定 및 代金 정산
(93年 1等 收買價 47,820원/40kg 가마

□ 老人 餘暇施設 擴充 : 敬老堂新築 2個所 (廣坪洞1,沙谷洞1 工事中)

事業費 : 280,510千원

□ 兒童福祉 增進

○ 社會福祉法人 三省院 支援

院兒數 : 71名

事業費 : 計劃163,703千원, 實績 160,550千원 (98%)

○ 市立金烏어린이집 支援

院兒數 : 165名

事業費 : 計劃 115,421千원, 實績 56,433千원 (49%)

○ 少年少年家長 世帶 保護

世帶數 : 8世帶 (19名)

保護費 支援 : 計劃 3,572千원, 實績 3,473千원 (97%)

□ 健全家庭儀禮業所 指導

○ 對象業所 : 7個所 (禮式場 5,葬禮式場2)

○ 指導團束 : 計劃26回 實績 25回 (96%)

□ 婦女福祉 增進

○ 母子家庭 保護 : 215世帶 663名

○ 支援 : 中高(實業係)子女學費支援 42名, 14,157千원

○ 女性教養 教育 : 24回 2485名 (96%)

○ 女性團體 指導 : 11個團體

○ 要保護女性 指導 : 同居夫婦 合同結婚- 10雙 , 相談 - 310件

'95 主要 業務 計劃

低所得住民 生活水準 向上

方 針

- 低所得 階層, 貧困의 惡循環 防止 및 自活自立 基盤 造成
- 持續的인 事後 管理와 支援으로 安定 基盤 構築
- 自活 勤勞意慾 鼓吹 및 生活安定 圖謀

□ 自立基盤 擴充 ————— 1,313,288 千圓

- 居宅 救護費 : 405 家口 950 名 813,946 千圓 (國·道費 90%, 市費 10%)
- 生活安定資金 : 10 家口 70,000千圓 (2年거치 3年 均等 償還)
- 生業 資金 : 4 家口 28,000千圓 (5年거치 5年 均等 償還)
- 學 資 金 : 441 名 177,342千圓
- 傳 貫 轉 換 : 10 家口 70,000千圓
- ※ 定期積金 (後援者·入住者 各 月 30千圓씩)
- 其 他 支 援 : 4,270 世帶 154,000千圓

· 緊急救護 : 70家口 14,000千圓

· 居宅保護對象者 住居費 支援 : 200家口 40,000千圓

· 不遇이웃돕기 (설날, 仲秋節, 年末, 隨時) 支援 : 4,000家口 100,000千圓

※ 募金額 ('94 이월액 包含) : 140,000千圓

障 碍 人 自 立 基 盤 造 成

方 針

- 障碍人の 自活 自立 基盤 造成
- 障碍人에 대한 社會 活動 參與 機會 賦與
- 低所得 障碍人の 經濟的 負擔 輕減 - 生活安定 圖謀

□ 肢體障碍者 技術教育 및 支會 運營費	—	12 名	5,000 千圓
□ 聾啞者 手話教室 運營 (3回, 3個月 過程)	—	100 "	3,000 "
□ 盲人 點字 教室 運營 (1 ", 10 ")	—	35 "	2,000 "
□ 重症 障碍人 生計費 補助 (1人 月 20千圓)	—	12 "	4,320 "
□ 醫療費 支援	—	30 "	1,000 "
□ 子女 學費 支援	—	2 "	716 "
□ 登錄 診斷費 支援	—	50 "	450 "
□ 特殊學校 學生 學費 支援	—	10 "	3,000 "
□ 障碍人 補裝具 支援	—	10 "	3,000 "

綜合社會福祉館 運營

現 況

- 位 置：龜尾市 黃桑洞 110番地 (黃桑永久賃貸아파트 內)
- 規 模：佔地 355坪，建坪 325坪 (地下1，地上 2層)
- 職 員 數：12 名 (行政 3，技能 2，其他職 5，日傭 2)

□ 主要事業

- 어린이집 運營，圖書室 運營，讀書室 運營
- 老人亭 運營，醫務室 運營
- 在家福祉奉仕센터 運營

□ '95 民間委託 運營

○ 根 據

- 社會福祉館設置運營規程 第13條
- 龜尾市綜合社會福祉館設置及運營條例 第5條

○ 對 象：社會福祉法人，非營利法人

○ 效 果

- 豫算·人力節減，行政能率 極大化
- 專門人力으로 地域住民 福祉서비스의 質 極大化

○ 委託期間：5年 (延長可能)

○ '95 豫算：123,285千원 (國費 51,980 市費 54,145 自負擔 17,160)

產 業 平 和 定 着

方 針

- 勞使의 賃金・團體 交渉 — 積極的인 姿勢로 充分한 對話 誘導
- 不當한 團體 行動 — 法節次에 따라 早期 對處

勞 使 和 合

□ 工團與件

- 勞・使가 相互 尊重하는 等 自律 解決 風土가 造成됨.
- 賃金・團體協約의 交渉은 慣行이 成熟되어 平和的으로 妥結 됨.

□ '95 勞・使 展望

- 景氣好轉等으로 勤勞者들의 賃金, 福祉分野에서 높은 목소리가 豫想됨.
- 民主勞總 建設과 勞動法 改正要求 等 在野團體 積極的인 活動이 豫想됨.

□ 對 策

○ 勞・使・政 協助體制 維持

- ・ 勞・使間의 定期的인 對話 雰圍氣 造成 → 協助的 勞・使關係象 定立
- ・ 有關機關과 緊密한 協助體制 → 迅速한 情報交換, 共存體制 維持

○ 勞動組合 和合 雰圍氣 造成

- ・ 模範勤勞者 施賞 → 年 60名 (道知事 20, 市長 40)
- ・ 勞組幹部 및 模範勤勞者 産業視察 → 2回 (180名)
- ・ 勞・使・政 한마음갓기 行事 → 1回 (勤勞者 1,000名)
- ・ 模範 勤勞者 海外研修 → 1回 (20名)

○ 健全 勞組 育成

- ・ 勞動團體 및 單位勞動組合 隨時 訪問 → 거리감없는 對話, 隘路事項 聽取, 健議

雇傭促進 訓練事業

目 的

- 失業者, 生活保護對象者, 低所得層主婦 等 低所得階層에게 職業訓練 機會 提供
- 個人의 職業能力開發을 통하여 雇傭機會를 擴大, 自活基盤擴充 및 所得向上 圖謀

□ 推進方向

- 就業의 容易性, 成長 有望職種 與否를 綜合 判斷 訓練機關指定 및 委託 訓練
- 訓練機關指導 및 監督徹底
- 訓練生管理의 徹底 및 修了後 全員 就業斡旋에 總力

□ 訓練計劃

- 所要 豫算 : 150,000千원 (國・道費 87%, 市費 13%)
- 訓練 人員 : 270名 程度
- 訓練 期間 : 6 ~ 12個月
- 訓練機關指定 : 施設, 講師 等이 優秀한 公共 및 私設 및 訓練機關 指定
- 職 種 : 就業의 容易性 및 將來性 等を 判斷 多樣한 職種 選定

就業情報센터 運營

目 的

- 企業體 人力 難解消, 遊休人力 産業現場 吸收, 求職者 就業 斡旋
- 國民經濟 再跳躍을 위한 行政機關의 積極的인 서비스 提供

□ 現 況

- 生産施設의 自動化시스템으로 企業體 人力 採用 縮小
- 求職者의 大企業體 選好로 中小・零細 製造業體의 人力難 深化
- 製造業體 生産職 女性人力의 絶對 不足 — 現場 勤務 忌避
- 企業體의 人力難과 求職希望者의 就業難이 同時에 存在 — 就業斡旋에 隘路

□ 運營 計劃

- 中小・零細製造業體 人力難 解消에 注力 — 高齡, 主婦人力 活用 誘導(託兒施設 擴充)
- 就業情報紙 隨時 發刊 就業情報 提供 — 洞事務所 民願窓口 備置
- 有關機關 就業窓口와 有機的인 情報 交換 — 勞動部, 商工會議所, 中部管理公團
- 『求人・求職者 만남의 날』 行事 推進
 - ・ 時 期 : 分期 1回
 - ・ 對 象 : 求人企業體 및 求職 希望者
 - ・ 方 法
 - 求人業體 人事擔當者 直接 參席, 求職者와 現場 面接 - 採用 決定
 - 未就業者 就業電算網 管理 - 就業斡旋 推進

生活改革 10大課題實踐運動 持續進

重 點 推 進

- 業所の 3分化 差等監視 —— 效率的 業所管理
- 뿌리뽑기식 完決爲主로 團束 —— 頽廢,變態業所根絶

□ 細部 推進 計劃

- 깨끗하고 親切的 業所만들기 自律參與 擴散
 - ・ 衛生服 着用하기 . 親切的 서비스 . 清潔한 環境
- 民間自律 參與活動機會 擴大 - 組合, 奉仕團體, 學父兄
- 常習痼疾 違反業所 카드화 管理 - 擔當公務員 指定
- 地域別 特別整備地區 特別管理 - 元坪, 新坪, 工團, 仁同
- 告發申告센터 運營의 活性化
- 時間外 營業 利用 안하기 運動 展開
- 效率的 團束班 運營
 - ・ 常設機動團束班 運營 - 衛生課(1個班 6名)
 - ・ 有關機關 合同團束班 - 市, 警察, 教育廳

□ 問 題 點

- 營業時間制限으로 業所經營難憑藉 深夜營業行爲
- 遊興酒店許可規制로 一般飲食店의 變態營業 發生
- 無許可業所 刑事罰 微弱으로 團束成果 未治
- 常習痼疾業主 團束 妨害, 不法營業 知能化
- 許可取消業所 無許可 營業行爲 殘存

□ 對 策

- 制度的 問題 → 上部機關 建議
- 平面的日常團束止揚 → 常習違反業所 集中團束
- 痼疾, 知能的 變態業所 → 뿌리뽑기식 團束(業所 카드화)
- 業所 徹底 教育 → 自律 實踐 風土 定着

맑고 깨끗한 環境 保全

□ 公害排出業所 指導 團束 強化

- 常設 團束班 運營 —— 3 個組 (2人 1組)
- 檢, 警察 合同團束 並行 實施

□ 河川汚染 行爲 團束

- 公益勤務要員 常設 配置 —— 8 名
- 河川 水質 汚染度測定 —— 月 2回

□ 自動車 排出가스 團束

- 運行中인 車輛 —— 月 2回
- 無 料 點 檢 —— 月 1回

□ 飛散먼지 發生 事業場 管理 徹底

- 1,000m² 以上 建築 工事場 —— 防止施設 適法 設置

□ 事業場 發生 廢棄物 處理對策

- 排出業所 團束 —— 148 個所 281,190 톤/年
- 廢棄物 埋立場 確保

・ 候補地 物色, 選定後 別途 推進計劃

□ 環境汚染 告發 申告센터 設置運營

○ 環境保護課 —— (晝) 51 - 2121 (夜) 50 - 5222

□ 環境改善費用負擔金 賦課徵收

○ 對 象 —— 11,787 件 (施設物 755 自動車 11,032)

○ 賦課計劃 —— 422,131 千圓 (年 2回)

□ 環境保全 示範學校 運營

○ 學校指定 —— 1 個校 (教育廳과 協議)

○ 運營 要領

・ 學校生活을 통한 環境教育

・ 環境保全의 重要性和 生活 慣習 變革

・ 學生・學父母의 關心度 提高

○ 支援金 —— 3,000 千圓

쓰레기處理 對策

□ 쓰레기從量制 實施 : '95. 1. 1

○ 實施區域 : 龜尾市 全域 (奧地 一部地域 除外)

○ 年末까지 準備計劃

· 龜尾市 一般廢棄物 管理條例 및 施行規則 改正

· 官給 規格封套 製作 및 供給 : 所要豫算 506,350千원

· 封套販賣所 指定 : 1,000個所(담배販賣所, 수퍼마켓, 藥局, 아파트管理室 等)

□ 쓰레기 不法投棄 團束

○ 常時 團束班 編成 運營 : 20名 (各洞 1名)

○ 市傘下 全職員 擔當區域 責任制 確行 : 本廳 및 事業所 擔當洞 責任指導

□ 쓰레기減量 : 404톤/日 → 283톤/日 (30%)

□ 資源 再活用 : 26톤/日 → 66톤/日 (253%)

□ 쓰레기埋立場 管理

○ 쓰레기埋立 ('94.10.31 現在)

總 容 量	既 埋 立 量	殘 量	備 考
1,372 千㎡ (100%)	930 (68%)	442 (32%)	0.71 톤/㎡

※ 向後 4年 2個月間 使用 可能

□ 污水·糞尿淨化槽 清掃管理 : 6,150個所 (污水 342, 糞尿淨化槽 5,808)

中 小 企 業 支 援

□ 中小企業 支援

- 中小企業 技術研修 支援 ——— 30 個社 300 名
- 中小企業 育成資金 支援 50 個社 50 億원
- 産業體 特別學級 支援 3 個校 500 萬원

□ 中小企業 海外市場 開拓支援

- 輸出商品 카다로그 製作 配布 (外國 Buyer用, 英文版)
 - ・ 製作部數 : 3,000 部
 - ・ 配 付 : KOTRA 海外支社 (65個國 80個支社)
 - ・ 收錄內容 : 工團 會社 商品紹介
 - ・ 業體選定 : 輸出 可能品目 生産 中小企業體 (完製品社 爲主)
 - ・ 所要豫算 : 2,400萬원 (8,000원 × 3,000部)
- 海外市場 開拓團 (慶尙北道 主管) 參加業體 經費 支援
 - ・ 所要豫算 : 500萬원 (500,000원 × 10 個社)
- 期待效果
 - ・ 輸出增大 : 60百萬\$以上 新規 市場開拓 ('94 輸出目標額의 1 % 伸張)

市民交通便利提供

□ 都市交通 運營 改善

- 都市交通整備 基本計劃 樹立 - 21世紀를 지향한 구미시 교통정책 基本方向 定立
 - 內實있는 交通현황 · 체계의 평가, 將來交通需要 분석 → 交通행정 基盤構築
- 交通影響評價制 실시 : 評價對象 事業의 신속한 審議處理 및 事後管理 철저
- 交通誘發負擔金 부과 — 1,000件 240百만원

□ 大衆交通 運營 改善

- 시내버스 — 엄정한 配車管理, 버스乘車券制 실시 → 共同配車制運營의 내실화
- 택시 — 마음놓고 탈 수있는 택시만들기 → 運營形態 一新(운전자 제복착용等)
운전기사 資質 向上, 법규위반차량處罰強化, 불법영업행위 根絶
- 交通施設物 整備
 - 버스 및 택시 乘降場 新設 · 改替 : 121 個所 55 百만원
 - 仁同 버스 停留場 整備 : 1 個所 12 百만원
 - 交通安全施設 : 總豫算 1,065 百만원

□ 駐・停車 秩序 確立

○ 불 법 駐・停車 단 속 강 화

- 脆弱地域 集中團束 : 백화점, 음식점, 中央市場 等 단속원 고정배치
- 매주 木曜日 特別 團束의날 운영 : 市廳, 警察 합동단속

○ 기존 주차장 利用率 提高

- 금오천 覆蓋 駐車場 운영 활성화 — 주변 駐車禁止區域 단속강화로 駐車場
이용유도
- 선기천 고수부지駐車場 工事 마무리 — 11,900㎡ 348 면 ('95. 豫算 150 百萬元)

□ 交通秩序 確立

- 運輸業體 종사자 교육실시 — 綜合教育 2회 3,000名, 運輸業體 매월1회
- 차량 및 운송시설 點檢 — 버스터미널等 17個業體 1,350台 (분기 1회)
- 케이블카 안전 관리 徹底 — 定期點檢확행(교통안전공단), 수시 點檢・指導
- 交通事故줄이기운동 지속 전개 — 매월 첫째주 火曜日 (유관기관, 奉仕團體)

農 業 生 産

□ 農産物 生産

○ 計 劃 : 1,607 ha → 11,614 M/T

〔 米 穀 : 1,150 ha → 5,060 M/T (35,140 石)
田 作 物 : 135 ha → 482 M/T (3,650 石)
園藝作物 : 322 ha → 6,072 M/T

□ 農機械 半값 供給

○ 數 量 : 180 臺 (耕耘機 83 移秧機 41 管理機 40 트랙트 3 콤바인 8 其他 5)

○ 事業費 : 180,000 千원

(農家限度 100 萬원 以內 機臺 金額의 50%)

□ 屠畜場 現代化(95 ~ 97)

○ 屠畜場 規模의 擴大

・建物 154 → 800 坪

・敷地 1,000 → 4,500 坪

・廢水能力 100톤/日 → 500톤/日

・屠畜能力(日) : 소 30頭, 돼지 200頭 → 소 100, 돼지 500 頭

○ 龜尾圈 地域의 衛生的인 肉類 供給 充足

老人福祉增進

□ 老人餘暇施設 擴充

- 敬老堂 新築 : 1個所 (林吳洞) 事業費 165,888千圓

□ 敬老堂 補修

- 對象 : 松亭(구동) 老人亭外 4個所
- 事業費 : 8,000千圓

□ 敬老堂 後援事業 持續 推進

- 敬老堂後援會 活性化 : 書翰文發送 2回, 懇談會 2回
- 健康한 國土가꾸기 活動費 支援 32,000千圓. 1人當 年 8千圓

□ 無依無托老人 保護

- 對象 : 16名
- 訪問慰勞 : 年 4回 (家庭訪問, 苦情相談等 生活慰勞)
- 後援 : 民間團體 및 篤志家 發掘後援(結緣事業) 8,000千圓

□ 어버이날 紀念行事

- 日時 : '95. 5. 8 (豫定)
- 招請對象 : 1,500명 (老人)
- 施賞 : 孝子, 孝婦, 老人福祉寄與者, 傳統模範家庭, 장한어버이等 50名
- 豫算 : 32,650千圓

□ 國道費 補助事業推進 : 老人 乘車券 支給 외 6件 267,816千圓

兒 童 福 祉 增 進

□ 施設兒童 福祉增進 - 社會福祉法人 三省院 支援

- 支援計劃 : 211,646千원(補助金 194,946千원, 後援金 16,700千원)
- 夏季修鍊大會 : 1回 74名
- 從事者 教育 : 4回 10名
- 慰安行事 : 5月 靑少年의달 膳物傳達 및 慰安잔치
- 就業斡旋 : 4名

□ 少年少女 家長 保護

- 支援計劃 : 24,635千원
 - └ 補助金 14,047(國費 80%, 道市費 20%)
 - └ 支援金 - 目標 12,000千원

- 結緣事業 擴大 : 苦情相談 脫線防止
- 懇談會를 통한 後援 雰圍氣 造成 : 結緣事業推進
 - 慰安行事 (5월 靑少年의 달)

└ 對象 : 少年少女家長과 結緣者

└ 內容 : 慰安잔치를 통한 慰勞激勵

□ 市立 금오어린이집

- 保護對象 : 管内居住 6歲未滿 就學前 兒童(低所得層 優先)
- 事業費 : 427,052(補助金 249,824, 保育料 177,228)

婦 女 福 祉 增 進

□ 母子家庭 保護 : 母子家庭 自立基盤 造成 및 健全家庭 育成

○ 母子家庭 自立支援金 支援 : 8世帯 8,000千원 (世帯當 1,000千원)

○ 中. 高等學校 (實業係) 學費 支援 : 42名 14,157千원 (7等級 以下 家庭 子女)

○ 母子家庭 어머니 健康檢診 (子宮암의 4鍾) : 50名 2,000千원

□ 女性教養 涵養

○ 女性指導者 研修大會 및 各種 教養教育 : 24回 4,000名

□ 女性團體 指導 育成

○ 12個 團體 27,191名

○ 團體別 特殊事業 推進

□ 要保護 女性 指導

○ 女性相談室 運營 : 家庭訪問, 生活相談, 子女 問題 等 (年 600件)

○ 合同 結婚式 : 5 雙

特 殊 施 策

醱酵機利用 飲食物찌꺼기 無機化

□ 示範地域：共同住宅 2個所 (200世帶)

□ 推進方針：醱酵機를 利用 飲食物찌꺼기를 無機物로 分解

○ 有機物을 炭酸가스, 물, 암모니아가스 等으로 分解：副産 排出物 ZERO

□ 細部 推進計劃

○ 事業量：醱酵機 設置 2臺

○ 事業費：17,000千원

○ 設置場所 選定基準

・ 再活用運動 參與率이 높은 共同住宅 優先

・ 100世帶 基準 1臺 設置

○ 機械管理：아파트 管理所

○ 運用：各 家庭의 飲食物쓰레기를 別途分離 隨時로 醱酵機에 投入

○ 關聯條例 改正：飲食物을 堆肥化하여 排出할 境遇 手數料 免除

□ 期待效果

○ 投入後 事後管理 不必要：主婦들의 呼應度 提高

○ 實施地域의 쓰레기 發生量 減少 (26%)：7톤/日 → 5.2톤/日

醱酵機利用 飲食物찌꺼기 無機化

□ 示範地域：共同住宅 2個所 (200世帶)

□ 推進方針：醱酵機를 利用 飲食物찌꺼기를 無機物로 分解

○ 有機物을 炭酸가스, 물, 암모니아가스 等으로 分解：副産 排出物 ZERO

□ 細部 推進計劃

○ 事業量：醱酵機 設置 2臺

○ 事業費：17,000千원

○ 設置場所 選定基準

・ 再活用運動 參與率이 높은 共同住宅 優先

・ 100世帶 基準 1臺 設置

○ 機械管理：아파트 管理所

○ 運用：各 家庭의 飲食物쓰레기를 別途分離 隨時로 醱酵機에 投入

○ 關聯條例 改正：飲食物을 堆肥化하여 排出할 境遇 手數料 免除

□ 期待效果

○ 投入後 事後管理 不必要：主婦들의 呼應度 提高

○ 實施地域의 쓰레기 發生量 減少 (26%)：7톤/日 → 5.2톤/日